

HALCC 教育班

2017年11月21日

活動報告会

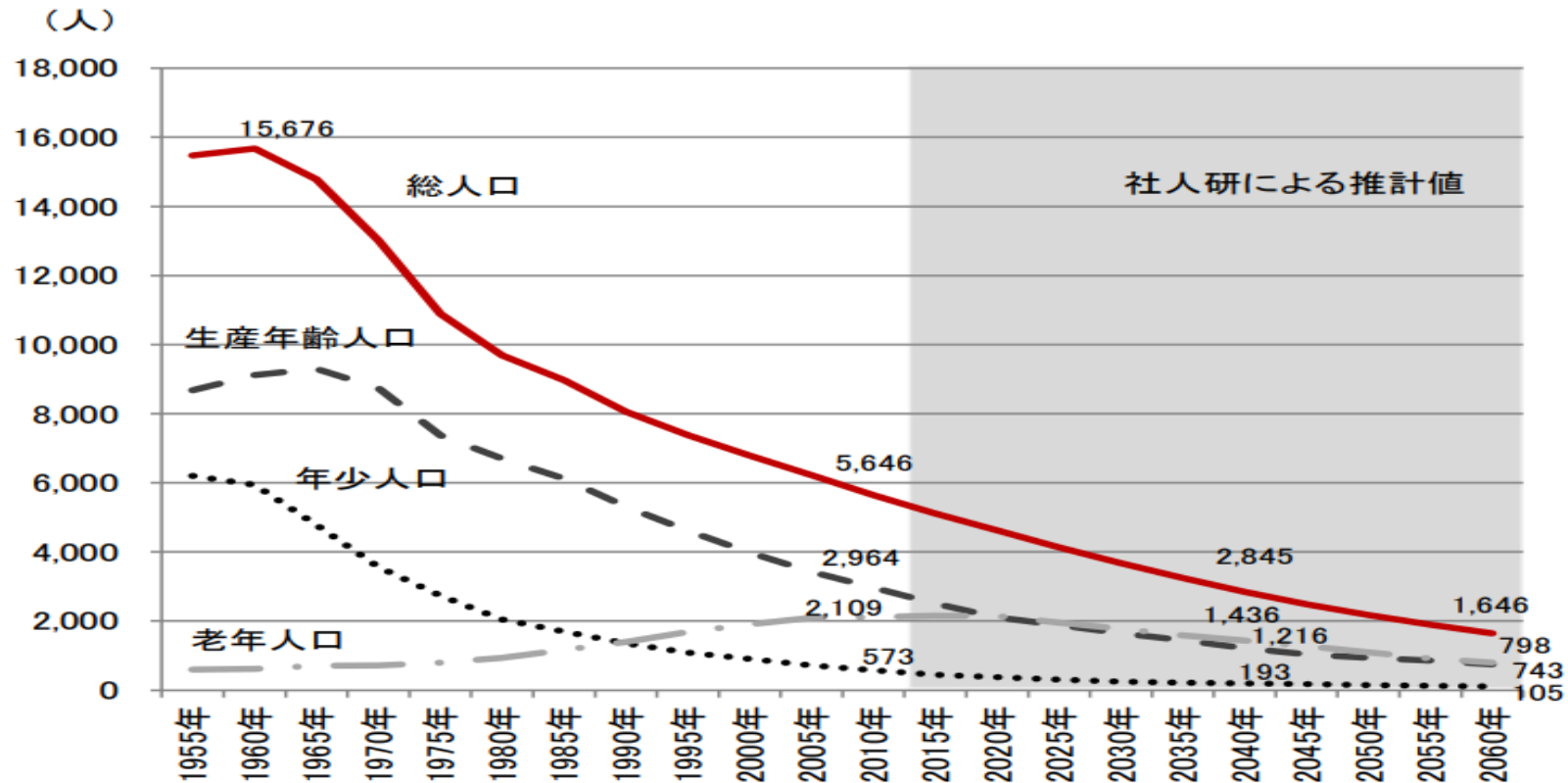
もくじ

1. 現状
2. 昨年の活動内容
3. 仮説設定
4. 今年の現地調査でのヒアリング
5. グループワーク・交流会の報告
6. 政策提言

津別町と津別高校の現状

1. 人口の減少傾向

図表Ⅱ－1 総人口及び年齢3区分別人口の推移(1955～2060)



出典:津別町人口ビジョン案より

津別町と津別高校の現状

2. 廃校の可能性

→2年連続で20人以下で廃校対象に

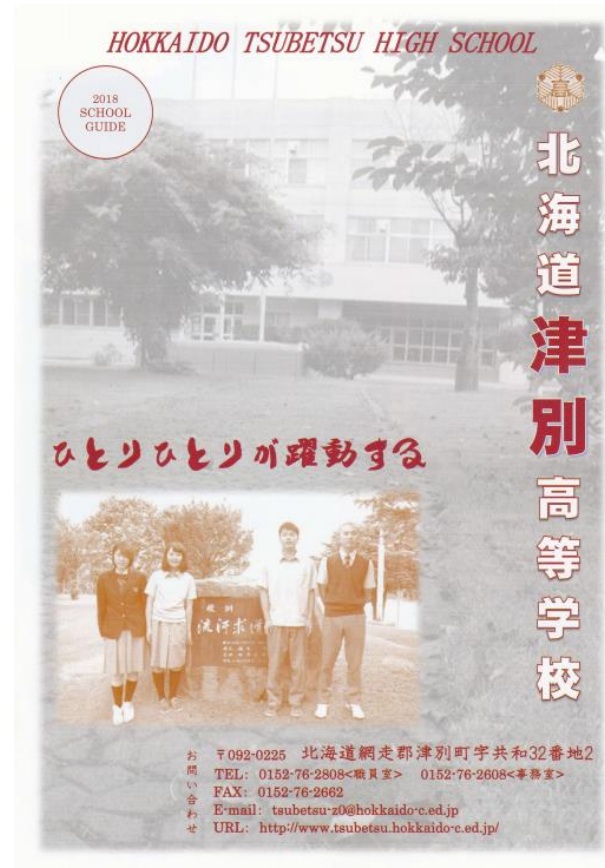
2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
18人	27人	23人	34人	32人

津別町と津別高校の現状

3. 高校の特色

- 進路決定率100%
- 海外研修
- 勉強マラソン
- 学び直し講座

など



津別町と津別高校の現状

4. 生徒への支援

- 教科書代や制服代の補助
- 海外研修の補助
- 検定料補助

など

昨年度の報告

昨年教育班は「津別高校存続」に向けて、政策提言を行った。

ヒアリング先:

町民、認定こども園、教育委員会、津別高校

課題

学校の制度は整っている



認知度が低い

昨年度の政策提案

①津別の広報媒体の活用、ポスターの改善

②生徒と地域の方々との交流を増やす

Ex.)放送部の立ち上げ→立川さんがYoutu部の発足を考案中



今年度

- ・町民へのヒアリング
- ・津別高校生と大学生との交流会

仮説

- ① 地域活性化のためには高校存続が必要である
- ② 地域(外部との)高校の関わりを増やすことが高校存続にとって重要である

ヒアリング内容(町民)

✓津別高校のイメージ

「少人数の良さ」

▶生徒数が少ないからこそその魅力

✓津別高校生との関わりは？

「高校生との関わりは減ってきている」

「頼まれれば関わるが、自分から積極的に行くのは難しい」

▶高校生と関わる機会が以前より減り、自ら関わるのは難しい

✓津別高校を存続させたいか

「地元にはひとつは高校が欲しい」

「卒業した子どもたちが戻ってくる場所を残したい」

▶子どもたちの選択肢のひとつとして津別高校を存続させたいという思い

ヒアリング内容（津別高校）

✓津別高校の現在の取り組みは？

- ・魅力づくり...生徒と教員の近い距離と英語教育
- ・地域との連携/地域貢献...地域の行事に参加、ボランティア活動、JAとの農業体験

✓進路指導の先生はどのように指導をしているか？

- ・多様な進路と11名の教諭
- ・進学講習/学び直し...Birth47が週3回
- ・大学と専門学校の相談会の実施（継続性と参加率）

✓町と高校のつながりは？

- ・中高連携...北見市、美幌町、津別町の中学校へ訪問
中学校3年生全員分のリーフレットを配布

グループワーク・交流会

グループワークの内容

- ・テーマ

「津別町を町外の人に紹介するなら？」

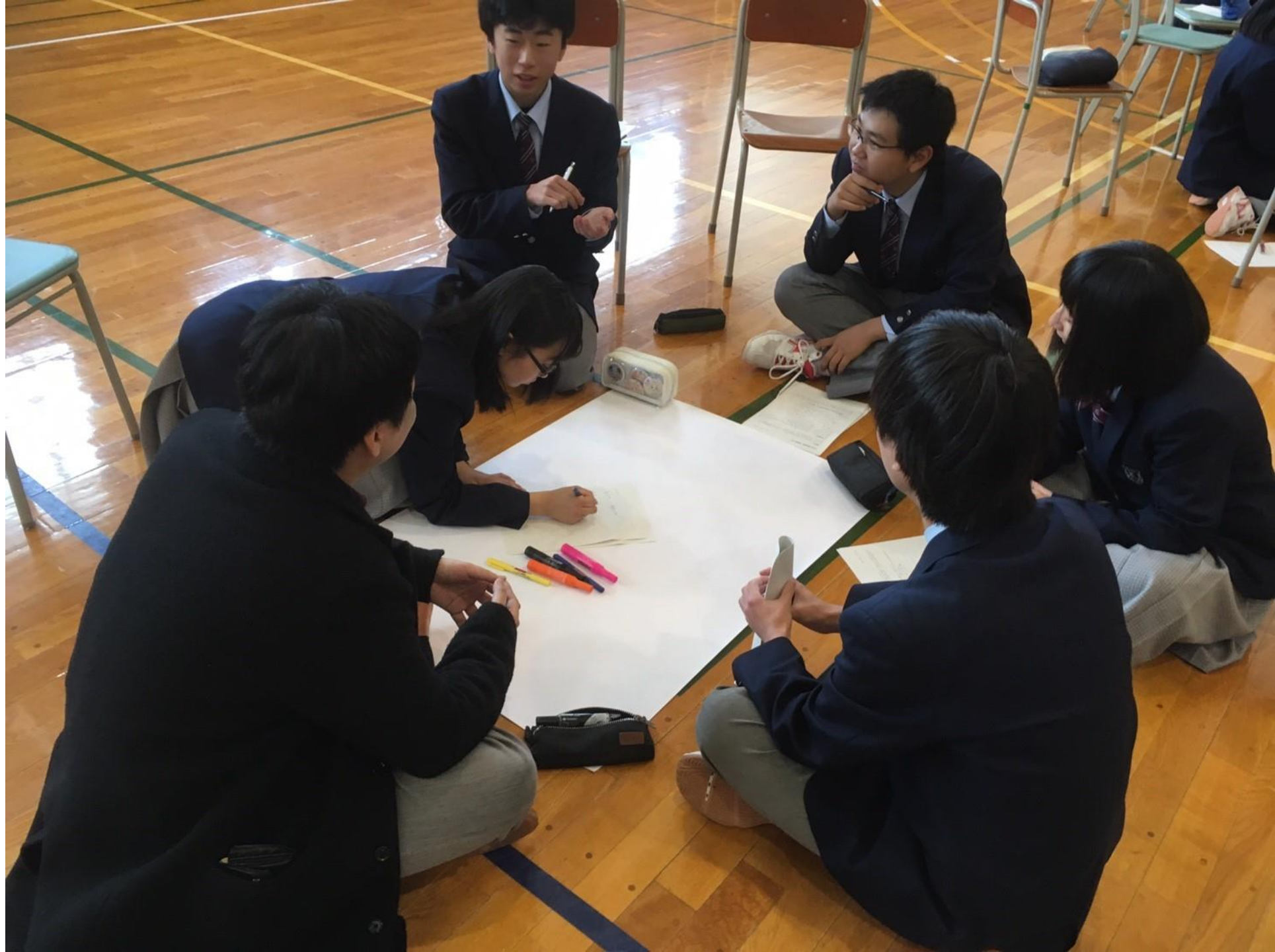
Ex)「津別町はどんなところ？」、「どんな魅力がある？」

- ・グループ構成

北大生1人＋高校生5～6人

⇒模造紙にまとめ、発表を行う







交流会の内容

- ・目的

津別高校生が北大生と自由に交流、相談する

Ex) 大学生生活はどんな感じ？

進路について

津別町に残る？ 都会に出たい？

- ・進行

北大生の自己紹介の後、自分の関心のある大学生の下に集まる





アンケートの実施

- ①出身は町内か、町外か
- ②交流会の満足度
- ③津別町の良さや課題について考えられたか
- ④大学生との交流は、自分の将来を考えるきっかけになったか
- ⑤津別町のことが好きか

アンケートの実施

⑥現時点での進路希望

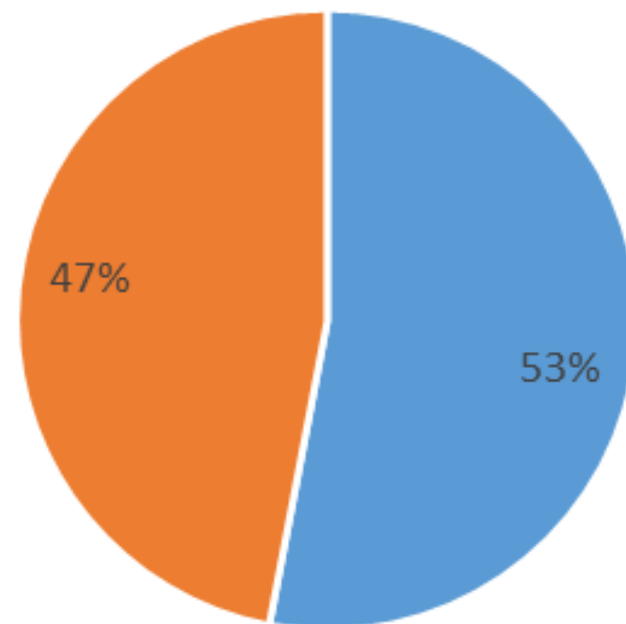
⑦将来はどこで働きたいか

(津別、札幌、北見、道外、その他道内の町、
考えてない、その他)

⑧津別高校への入学理由

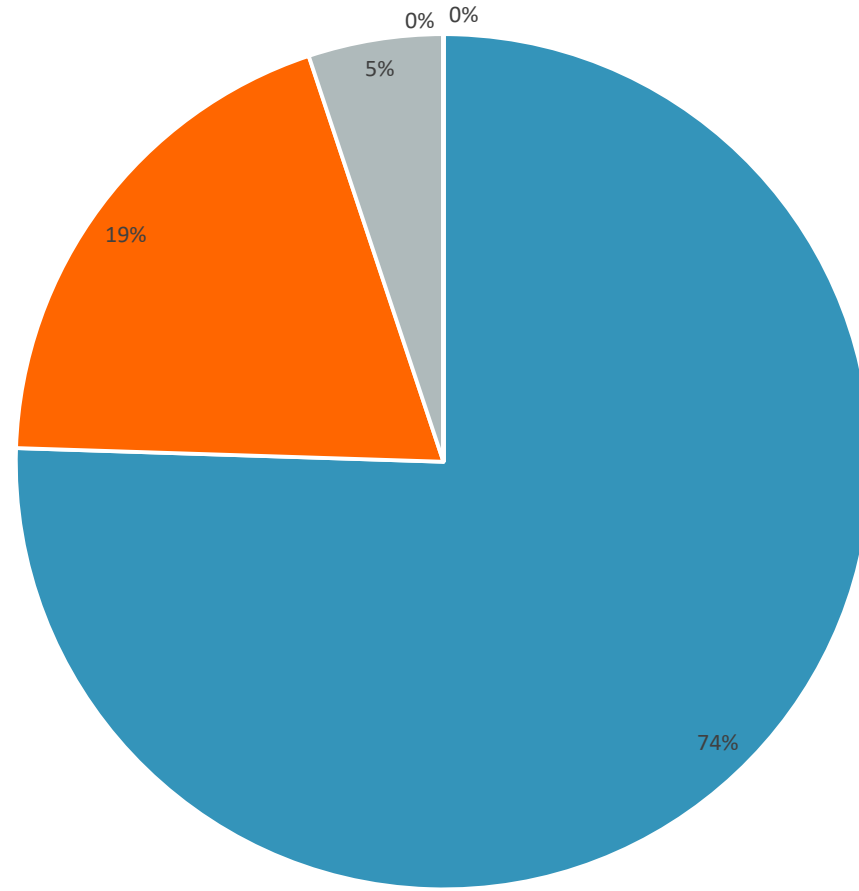
⑨交流会に対する意見、感想、自分の将来に対する自由記述

出身地



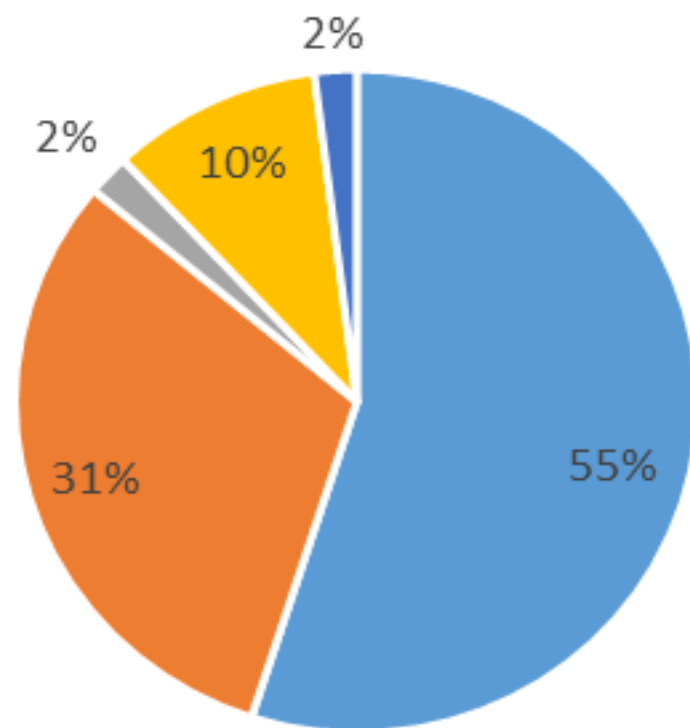
■ 町内 ■ 町外

交流会の満足度



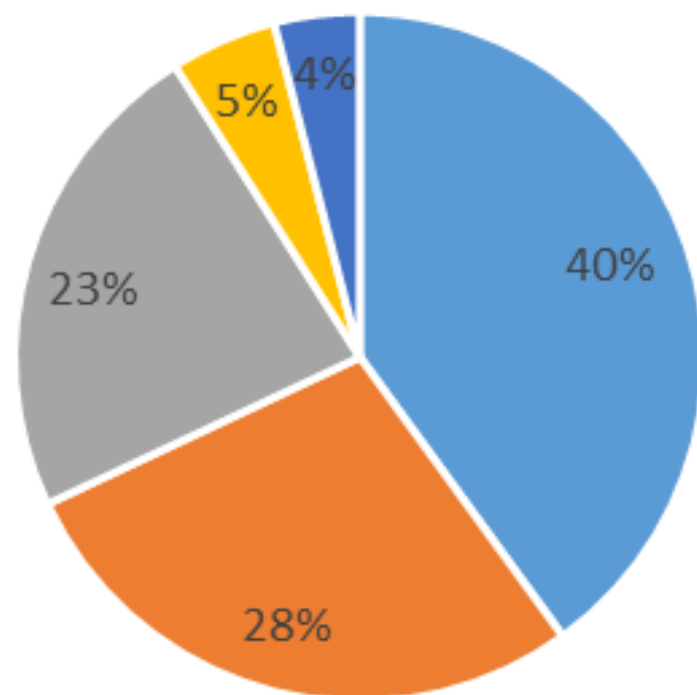
■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満

津別町の良さや課題について考えられたか



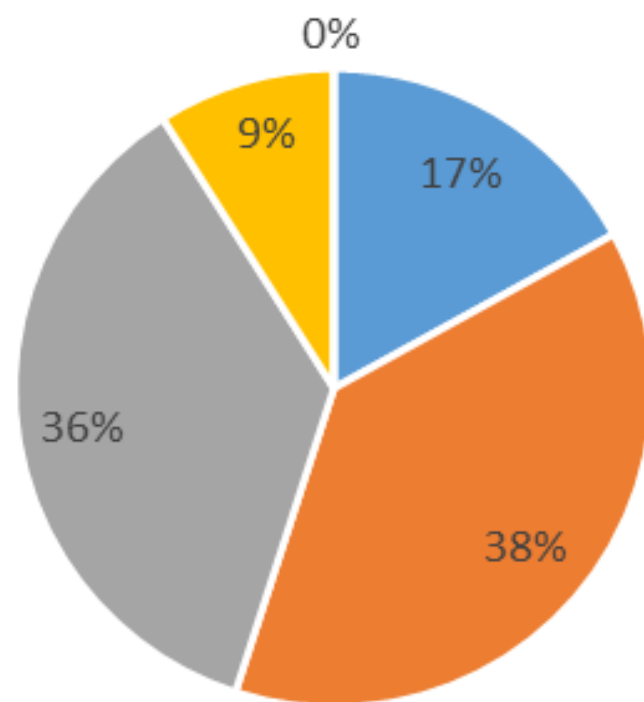
■ なった ■ まあまあなった ■ どちらでもない ■ あまりならなかった ■ ならなかった

将来を考えるきっかけ



■ なった ■ まあまあなった ■ どちらでもない ■ あまりならなかった ■ ならなかった

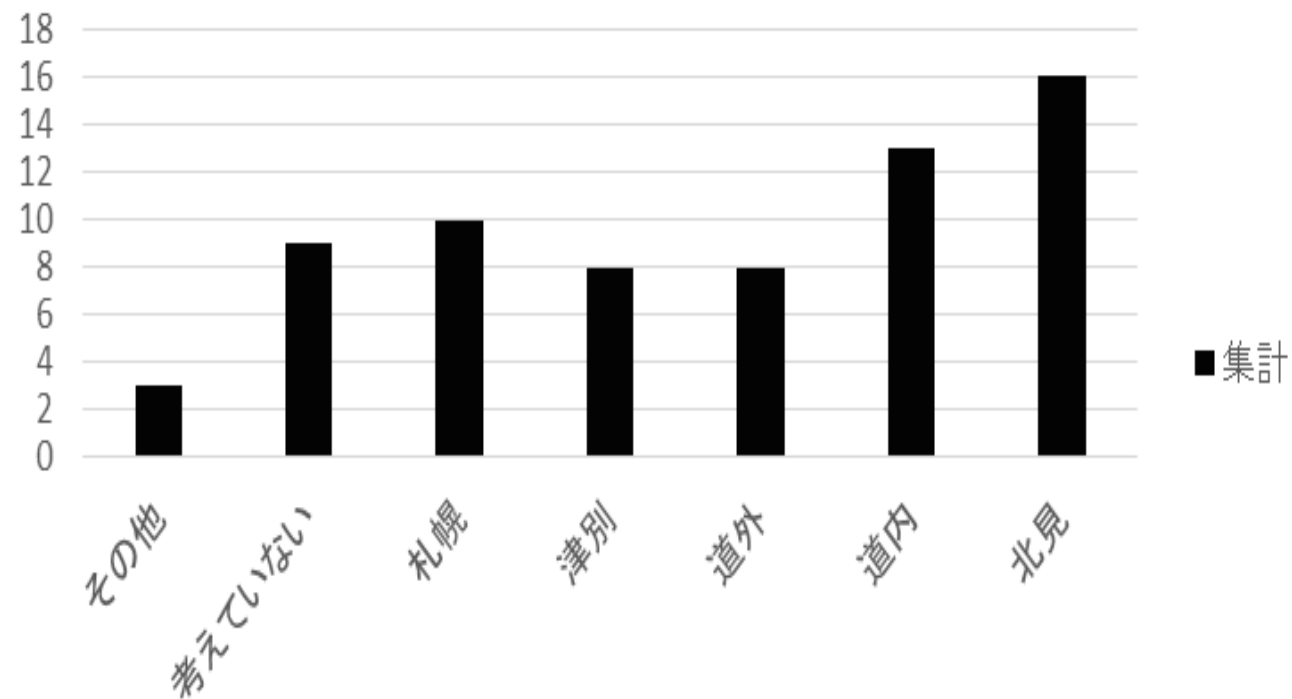
津別町が好きか



■ 大好き ■ 好き ■ 普通 ■ あまり好きではない ■ 好きではない

合計 / 人数

どこで働きたいのか



どこで働きたいか ▼

注目した項目

⑥現時点での進路希望

⑦将来はどこで働きたいか

(津別、札幌、北見、道外、その他道内の町、
考えてない、その他)

⑧津別高校への入学理由

⑨交流会に対する意見、感想、自分の将来に対する自由記述

⑥現時点での進路希望

専門学校（農業、理容、看護、情報ビジネス...）

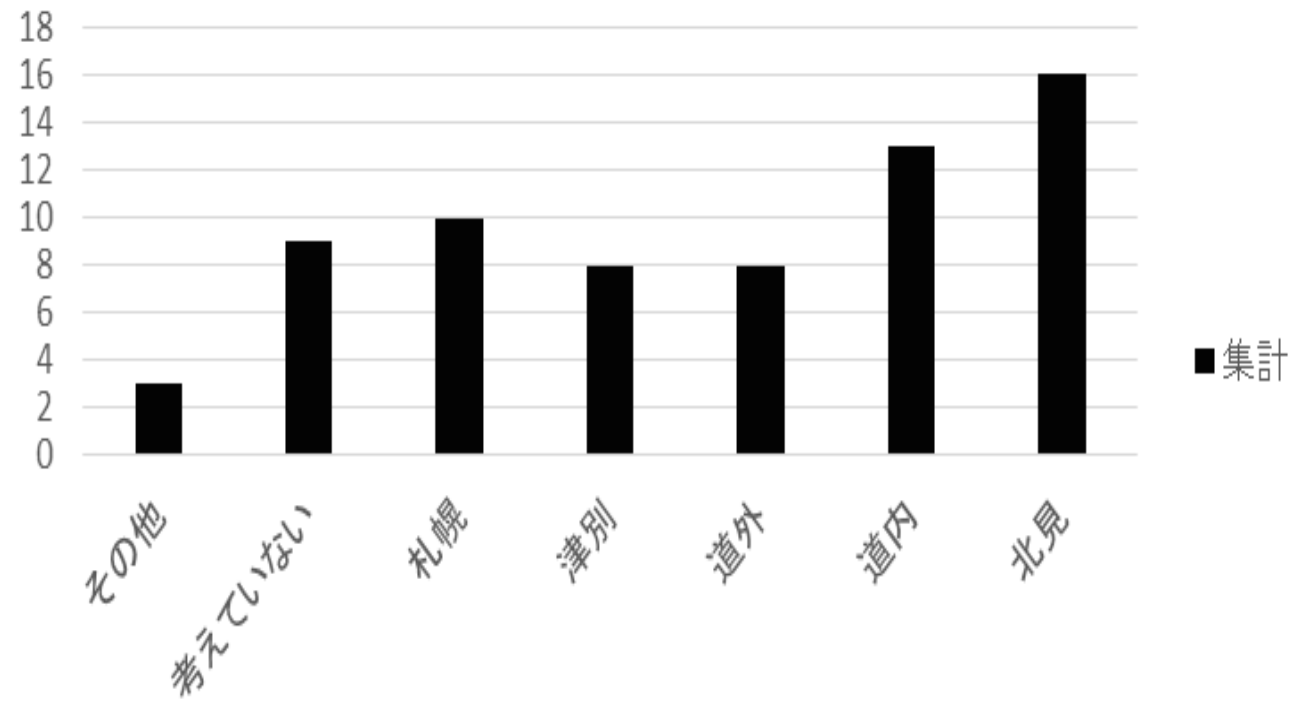
大学、短期大学

就職（具体的な就職先なし）

// （消防士、建築士、ラーメン屋、ゲームクリエイター、
自然調査、動物関係...）

合計 / 人数

どこで働きたいのか



どこで働きたいか ▼

⑧津別高校に入学した理由

お金の免除・補助(多数)

親に勧められた

学びなおしがあるから

家に近いから

就職率100%だから

学力が低かったから

津別町がどういうところか気になったから

⑨自由記述

大学生との交流が楽しかった

自分の将来を考えるきっかけになった

自分の町について考えるきっかけになった

⑨自由記述

何が身についたのか、何の意味があったのかわからない

このままだと津別町がなくなってしまうので、そうならないようにしたい

道の駅を町の方に移せばもっと盛り上がると思う

アンケートから分かったこと

進路を具体的に決定している生徒が少ない
生徒の希望進路の多様性
⇒進路指導の更なる強化

大学生との交流が楽しかったという声が多い
⇒外部の人との交流が大切

津別町を好きではない生徒が多い
⇒町民が町の魅力を認識する必要性

政策提言

高校の存続がマスト

→ 高校生の進路に対する意識を上げる

＝ 情報提供が必要不可欠

① 外部との交流を増やす

② 進路指導の充実

①外部との関わり

- OB組織作り
- 講演会
- メンター制度の実施

②制度面の充実

- 進学コース・就職コースの充実
 - 進路指導部機能の活用
 - 就職に関する講演会

ご清聴ありがとうございました